

# 伊賀市議会だより

No.56  
2019.2.1

# 賀会



笑顔で魅力発信 いがうえの語り部の会

伊賀市体育施設条例の一部改正(平成31年1月1日から)



伊賀市民多目的広場(旧上野商業高校跡地)を民間事業者等へ貸し付け、民間活力による公有財産の有効活用を図ります

質疑(委員会)

**問** 有償または無償で貸し付ける根拠は。

**答** 財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例に基づき、公共団体が公共事業を行う場合は減額や減免を行います。



伊賀市民多目的広場

討論(委員会)

**賛成** 広大な土地なので市として有効かつ地元で考慮し借受者の選定を行ってほしい。

上野ふれあいプラザの設置及び管理に関する条例の一部改正(平成31年1月4日から)



新庁舎移転で使用しなくなる上野ふれあいプラザ2階を使用施設から削除します

質疑(委員会)

**問** この施設は2020年に取り壊すとの事であるが、そのまま売却は出来ないのか。

**答** アスベストを含むため、建物の売却は困難です。

**問** 市全体の問題として施設の活用を検討しているのか。

**答** コスト等を考慮すると、解体して更地とするのがよいと考えます。

討論(委員会)

**賛成** 施設の再利用についてはもっと議論し再考してほしい。



上野ふれあいプラザ

伊賀市青少年センター条例の一部改正(平成31年4月1日から)



上野ふれあいプラザ3階に設置している伊賀市青少年センターを伊賀市教育研究センター(旧友生小学校)内に移転します

質疑(委員会)

**問** 指導や悩み相談を行う際、中心市街地にあるふれあいプラザは利便性が良かったが、移転先をハイトピアや新庁舎へという検討はしたのか。

**答** ハイトピア伊賀に設置すると公民館機能が縮小されることや、相談によっては人目を気にして行きづらいということもあるため、教育研究センターで一元化を図ることが望ましいと判断しました。

伊賀市水道水源保護条例の一部改正(平成31年4月1日から)



規制対象事業場を明確に規定し、運用の円滑化を図ります

質疑(委員会)

**問** 水道に係る水質を汚濁し、または汚濁するおそれがあると判断する基準は。

**答** 水道水源区域内において対象施設が、最終処分場である場合、審議会の対象となります。また、中間施設処理、積替保管施設の場合で汚濁するおそれがある場合も審議会の対象となります。

討論(本会議)

**反対** 改正により審議会に諮ることなく市の判断で事業を進めることは、規制を緩くしてしまう懸念がある。水源汚染されて取り返しがつかなくなった時、市は責任を取れるのか。水源保護に有効なものではない。

平成30年度一般会計補正予算 6億9,777万9,000円の増額



【主なもの】

- **伊賀鉄道パーク&ライド駐車場整備工事委託料** 127万5,000円  
伊賀鉄道の利便性の向上を図るため比土駅及び丸山駅に駐車場を整備
- **バス等対策事業経費** 813万1,000円  
上野コミュニティバス「しらさぎ」に  
・IC対応導入  
・公募デザインによる車両のラッピング  
・スマートフォン等によりバスの位置情報等が確認できるバスロケーションシステムの構築 などの経費
- **施設改修事業** 5,972万2,000円  
小中学校施設の不適合ブロック塀等の改修工事費(成和西小学校ほか)



成和西小学校

審議した議案等と各議員の賛否

○印は賛成、×印は反対。なお、岩田佐俊議員は議長のため、特別多数議決の発議第15号を除き採決に入っていません。

件名	賛成 反対	議決 結果	川上	北森	信田	西口	福村	宮崎	桃井	山下	市川	赤堀	嶋岡	田中	福田	森川	生中	上田	近森	中谷	百上	北出	空森	岩田	安本	中岡	
			善幸	徹	利樹	和成	教親	栄樹	弘子	典子	岳人	久美	壯吉	覚	香織	徹	正嗣	宗久	正利	一彦	真奈	忠良	栄幸	佐俊	美栄子	久徳	
請願	22:1	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長提出議案	18:5	可決	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
議員提出議案	2:21	否決	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	13:11	否決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	
	15:8	可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	
全員賛成で可決(採択、同意を含む)した議案																											
請願	桐ヶ丘汚水処理施設の公共移管																										
市長提出議案	・公平委員会委員の選任(加納 圭子氏) ・平成30年度伊賀市一般会計補正予算(第5号) ・平成30年度伊賀市駐車場事業特別会計補正予算(第1号) ・平成30年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) ・平成30年度伊賀市水道事業会計補正予算(第1号) ・伊賀市議会議員及び伊賀市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正 ・地区コミュニティ施設設置条例の一部改正 ・上野ふれあいプラザの設置及び管理に関する条例の一部改正 ・伊賀市青少年センター条例の一部改正 ・伊賀市勤労者福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部改正 ・指定管理者の指定(上野ふれあいプラザ、上野ふれあいプラザ駐車場)(治田ふれあいプラザ)(島ヶ原ふれあいの里)(伊賀の国大山田温泉)(きらめき工房いが、きらめき工房あおやま)(放課後児童クラブ第2フレンズうえの)(史跡旧崇広堂、旧小田小学校本館、入交家住宅、名勝及び史跡城之越遺跡)(伊賀焼伝統産業会館)													・教育委員会委員の任命(中 香代子氏) ・平成30年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) ・平成30年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) ・平成30年度伊賀市病院事業会計補正予算(第2号) ・平成30年度伊賀市下水道事業会計補正予算(第1号) ・伊賀市職員の給与に関する条例の一部改正 ・伊賀市体育施設条例の一部改正 ・伊賀市立学校設置条例の一部改正 ・城之越遺跡の設置及び管理に関する条例の一部改正 ・訴え提起前の和解の申立て													
	議員提出議案	・認知症施策の推進を求める意見書の提出													・義援金差押禁止法の恒久化を求める意見書の提出												

公平・公正？  
誠実？

岡本市長の  
市政運営に**疑問!!**

不信任決議は  
否決されるも、

**不信任決議**

賛成 13人

反対 11人

で **否決!**

この結果を  
受けて

■ 12月定例会最終日の12月25日、福村教親議員ほか9名の議員から岡本栄市長に対する(※)不信任決議が提出されました。

#### 【内容】

岡本栄伊賀市長においては就任後、議会に対し数々の愚弄・暴言ともいうべき発言が多くなされている。

昨年6月の南庁舎関連の予算議案が上程される前に業務委託契約を行っていたことは、議会軽視と行政事務執行上の暴挙であり、また、事あるごとに「意に添わなければ不信任を出せばいい」という市民から負託を受けた議員に対する威圧ともとれる発言を幾度となくされ、独善的な市政運営と言わざるを得ない。

さらに本年9月定例会に上程された南庁舎関連の予算議案が予算常任委員会で否決された後、市長自らが威圧・脅迫とも取れる手段をもって議員に説得工作を行ったことは、議員の議決権を奪い、正当な判断を揺るがすものである。このことは議決機関としての議会の存在意義を無視した二元代表制の精神を踏みにじることのみならず、市民をも欺く許すことのできない行為である。今定例会の一般質問において、市民や議会に混乱を招いたこの行為について、全く謝罪・反省の言葉もなく、自らの行為を正当化するような答弁に終始している。

以上のように、これまでの数々の発言や行為に加え、市民の負託を受けた議会の議決や提言を全く受け入れようとしない姿勢は、伊賀市自治基本条例第44条に規定する「市長は、市民の負託に応え、市政の代表者としてこの条例の理念を実現するため、公平・公正かつ誠実に市政を執行しなければならない」という市長の責務から大きく逸脱するものである。

市政を担う最高責任者としてその責任は重大であるにも関わらず、今後の市政運営にも大きな停滞と混乱を招くことは想像に難くないものであり、岡本栄伊賀市長を信任することはできない。

よって、岡本栄伊賀市長に対する不信任を決議する。

平成30年12月25日

三重県伊賀市議会

※不信任決議とは、地方自治法の規定により地方自治体の議会に「市長に対する不信任決議」が認められているもので、議員数の3分の2以上(伊賀市議会の場合16人)が出席し、可決には出席議員の4分の3以上の賛成が必要です。この不信任が可決されると、市長は10日以内に議会を解散することができ、解散しなければ10日が経過した時点で失職するものです。

#### 討 論(本会議)

##### 賛成

伊賀市自治基本条例にある市長の責務から逸脱しており、その姿勢は、正々堂々としている市政運営ではない。市民からは厳しい批判をいただいております。議員と市長が癒着している行為と取られても仕方がない。

##### 反対

不信任が提出されるのは、市長が刑事告訴される時または市民に甚大な損害を与えられた時であり、今回はこれらに該当しない。仮に不信任案が可決し、議会が解散となり、さらに選挙が必要となれば、市議会議員選挙、市長選挙合わせて約1億2千万円の血税が必要となる。そのようなお金は市民生活の向上に使用すべきである。



# 問責決議は可決!!

## 問責決議

賛成 15人

反対 8人

で **可決!**

■ 不信任決議の否決後、上田宗久議員ほか4名の議員から、岡本栄市長に対する(※)問責決議が提出されました。

去る本年9月定例最終日に否決された南庁舎リノベーション案に関連する予算について、市長から採決日前日に「このリノベーション案に理解を示さないと市道拡幅工事の優先順位を下げる」という旨の発言が、市民の同席する中で議員に対してなされたものである。この市道拡幅工事の予算は平成28年度から平成30年度にかけて議決されたものであり、議決する側の議員に対して既決案件を交換条件にするかのこの行為は、自主自律的な議決権を侵害する発言である。

また、これまで議員全員協議会や本会議一般質問でこのことが取り上げられたものの、自らが行った行為に加え、市民や議会に混乱を招いたことについても、何ら謝罪、反省の言葉もないことは、伊賀市自治基本条例第44条に規定する市長の責務に沿った行政運営であるとは言えず、遺憾の極みである。

よって、岡本栄伊賀市長に対して、今後このような政治的手法を使わないよう求め、猛省を促すとともに、その責任を強く問うものである。

以上、決議する。

平成30年12月25日

三重県伊賀市議会

※問責決議とは、市長などの不適当な発言や言動に対し、責任を問う必要があると判断した場合に提出されます。過半数で可決されますが、法的拘束力はありません。

請願

賛成多数で  
採択

【件名】 伊賀市都市計画道路南平野木興線建設促進

【請願者】 伊賀市都市計画道路南平野木興線建設促進期成同盟会 会長 小丸 勅司

【紹介議員】 信田利樹

【要旨】

都市計画道路南平野木興線は、木興町から西明寺までの延長3,960mを昭和30年6月1日に都市計画決定されたが、505mが未改良の状態である。計画決定から60年以上が経過し、未だに事業の完成に至っていないことから、当該路線未改良部分の早期完成を請願する。

全員賛成で  
採択

【件名】 桐ヶ丘汚水処理施設の公共移管

【請願者】 桐ヶ丘地区住民自治協議会 会長 大場 真一

【紹介議員】 西口和成、信田利樹、赤堀久実、安本美栄子

【要旨】

1. 市は、桐ヶ丘団地の汚水処理施設の移管を受け、「下水道法第3条第1項、公共下水道の設置、改築、修繕、維持その他の管理は、市町村が行うものとする」趣旨に準じ、適切な運用と維持管理を行うこと。
2. 桐ヶ丘団地の汚水処理施設の市への移管にあたっては、桐ヶ丘住民が宅地購入時に「汚水処理施設分担金」を負担していることに配慮し、当該施設の利用者については、修繕負担金の軽減を図ること。

意見書

認知症施策の推進を求める意見書

義援金差押禁止法の恒久化を求める意見書

全員賛成で  
可決  
(2件とも)

2件の意見書が全員賛成で可決され、内閣総理大臣等に提出されました。

**(一財)しまがはら郷づくり公社と懇談****10/5(金) 島ヶ原ふれあいの里**

総務常任委員会が一般財団法人しまがはら郷づくり公社と「やぶっちゃんの現状と課題について」というテーマで出前講座を開催しました。

重要な課題として、施設内の空調の修繕、旧まめの館の利活用等が挙げられました。また、年間1,800万円の入湯税を原資に施設の保守管理料として予算化することへの要望がありました。

その声を受け、議員からは、入湯税の方向性について、

議論していることを伝えました。まめの館については、市内の民間業者や学校へのPR、地域の方たちの協力体制の認識を高めるなど提案をしました。

**伊賀市PTA連合会と懇談****10/10(水) 教育研究センター**

教育民生常任委員会が伊賀市PTA連合会と「小中学校の児童・生徒の通学路等について」というテーマで出前講座を開催しました。

議員からは、行政に対し、「国道を通る自転車通学の危険性から、通学時にサポーターを置いて欲しい」、「道路の整備、夜間の照明がない箇所の自転車通学が危険である。もう一度全ての地域で安全確認をするべきだ」と要望したことを伝えました。

子どもたちが安全に学校へ通学できることが一番大切であり、そのためにこれからも最善を尽くすことを双方が再確認しました。

**明日の伊賀市図書館を考える会と懇談****10/11(木) 上野図書館視聴覚室**

教育民生常任委員会が明日の伊賀市図書館を考える会と「上野図書館の整備と充実について」というテーマで出前講座を開催しました。

今回で4回目となる出前講座は、現在の上野図書館の課題を共有しました。

考える会からは、「出前講座を重ね、図書館への意識が変わってきているのはありがたいが、早く良い図書館を作って欲しい。6月議会で旧市役所に図書館をという議案が否決されたのはたいへん残念である」という意見がありました。

議員からは、「図書館を否定したわけではない。図書館を充実させたい気持ちは同じである。これから40年、50

年以上使用するものだから、中途半端なものではなく、しっかり考え新築したほうが良いと思う」などの意見が出されました。また、「現在の図書館は駐車場が狭い。旧市役所だと駐車場も十分確保できる」などの意見もありました。図書館充実の重要性については、双方とも同じ意見でした。





**教育民生常任委員会 10月29日(月)～31日(水)**

- 神奈川県横浜市 「教職員の働き方改革事業」
- 埼玉県さいたま市 「生活困窮者学習支援事業」
- 東京都北区 「介護と医療の連携による在宅療養体制の充実事業」



横浜市

横浜市では、「先生のHappyが子どもの笑顔をつくる」と題して、学校長や教職員への「働き方」や「意識」に関する実態調査を行いました。

教職員の業務軽減のため、職員室業務アシスタントの設置や学校閉庁日の設定などの取り組みが行われていました。職員室のレイアウト変更など費用が発生しない試みもあり、参考になる面がありました。

さいたま市では、生活保護受給世帯であり学業の環境が十分に準備されていない生活環境の子どもが、成長し大人になって再び生活保護受給にいたる「貧困の連鎖」を防止するために、基礎学力を向上させる「学習支援」の取り組みを行っていました。



東京都北区

東京都北区では、「長生きするなら北区が一番」を優先施策とし、在宅介護医療連携会議の開催、高齢者安心センターサポート医の配置などの取り組みを行っています。

また、事業推進のため医師会との連携を重視し、「北区医師会との在宅療養支援の連携協力に関する包括協定」を結んでいることも参考になりました。

今回は、教育、子育て、医療・介護について調査してきました。これら先進地の事例を参考に、今後の政策提言につなげていきたいと思えます。

**産業建設常任委員会 10月29日(月)～31日(水)**

- 富山県富山市 「コンパクトシティ政策によるまちづくり」
- 富山県高岡市 「高岡を代表とする伝統産業(高岡銅器や漆器)」
- 石川県小松市 「こまつ・アグリウェイプロジェクト」

富山市では、人口減少と超高齢社会に対応した持続可能なまちづくりの課題に対応するため、コンパクトシティ政策によるまちづくりを推進しています。

鉄道などの公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、文化等の都市の機能を集め、環境にも高齢者にも優しい拠点集中型のコンパクトなまちづくりに取り組まれていました。



高岡市

高岡市では、伝統産業である高岡銅器や漆器などの技術の継承と、工芸産業の振興を目的とした人材養成スクール、また後継者不足や事業を継承する支援など積極的に行っていました。また新技術・新製品開発への補助や販路開拓支援など、企業ニーズに対するきめ細かい取り組みがなされています。

小松市では農作業の価値を高め活性化させる6次産業化の推進に力を入れており、地元の建設機械メーカー、JA小松市、行政の3者が「こまつ・アグリウェイプロジェクト」として連携協定しています。このプロジェクトでは、独自の加工品の開発や農作業の効率化など、新しい農業の形となる先進的な取り組みが行われていました。



小松市

今回の視察では、効率的な都市経営を行うまちづくり、伝統産業や農業後継者に対する支援の重要性を再認識しました。



議会運営委員会 11月7日(水)～8日(木)

- 東京都町田市議会 「議会改革(高校生意見交換会)と予算・決算の分割審査」
- 埼玉県所沢市議会 「議会改革(ワールドカフェ、大学連携、議会評価)と予算の分割審査」

開かれた議会、審査の充実を目指して

町田市議会では、議会を活性化する取組みの一つとして、市内の高校生と議員の意見交換会を実施しています。

高校生が日頃感じる身近な疑問など幅広い観点から意見交換を行っています。参加した生徒からも大変好評を得ており、今年は昨年約3倍の生徒に参加いただく予定とのことでした。



所沢市議会

所沢市議会では、議会の広聴機能の強化として、「みみ丸カフェ」と題した意見交換会が行われており、20歳から50歳まで

の現役世代を対象に、無作為抽出した市民に案内を送り参加者を募っています。意見交換会では、連携協定を結んでいる早稲田大学の学生が(\*)ファ



シリテーターを担ったり、議員はスーツ姿での出席をやめ「聴くこと」に徹するなど、市民が意見を出し易い雰囲気作りに努めているとのことでした。

伊賀市議会でも、5月に初めてタウンミーティングを実施しましたが、これらの取り組みを参考に、今後の意見交換会のあり方や実施方法について、検討・協議していきたいと考えています。

また、予算や決算の審査については、分割審査を行っている町田市議会、一方、過去に行っていた分割審査を取りやめた所沢市議会とそれぞれ異なる形で運営を行っていますが、両市議会の良い点や審議上問題となる点などを踏まえ、より充実した審査が行えるよう伊賀市議会としての運営方法を検討していきたいと考えています。

\* ファシリテーター: 会議を円滑に進めるための進行役



研修会

伊賀市・名張市議会連絡協議会 議員研修会 11月12日(日)

議会審議の重要性  
議会改革の必要性を再認識

伊賀市、名張市の両議員で構成する伊賀市・名張市議会連絡協議会議員研修会が開催され、両市の議員40人が参加しました。



この研修会は毎年開催されており、本年度は、三重県地方自治研究センター上席研究員の高沖秀宣氏<sup>たかおきひでのぶ</sup>を講師としてお招きし、「議会改革の進め方」と題した講演を受けました。

講演終了後、議員からは、議員報酬のあり方や通年制議会のデメリット、公聴会制度など多くの質問があり、改めて議会審議の重要性、議会改革の必要性を認識する研修会となりました。

【講演内容】

- 議会基本条例の実践と成果
  - ・条例の規定が実践できているか
  - ・条例の検証と見直しがなされているか
  - ・議会の評価ができる機能は備わっているか
- 議会運営と議会審議の充実
  - ・予算審議は充実しているか
  - ・予算の修正が頻繁に行われているか
  - ・議員間議論は尽くされているか
  - ・参考人、公聴会制度は活用されているか
- 議会力の向上
  - ・一般質問における問題提起を議会としてどう捉えるか
  - ・一般質問後の追跡調査はできているか
  - ・提案権機能が有効に活用されているか
  - ・専門的知見の活用がなされているか
- 政務活動費の活用
  - ・十分に調査研究への活用がなされているか

上記の課題が挙げられ、全国的に議会への関心の低下が懸念されている中、今後の議会改革に必要なものとして、「議会への住民参画の推進」や「通年制議会の導入」等の提案がなされました。



# 一般質問

ここが聞きたい

# 市政を問う

一般質問は、12月6日、7日、10日、11日の4日間で、18人の議員が市の諸問題についての質問をしました。その主なものを掲載しています。

[QRコードで録画映像をご覧ください]

森川 徹 議員

## 質問項目

- 消防の職場環境と装備
- 消防団と自主防災組織



## 問 消防職員の職場環境について

消防予算のうち常備消防費がここ4年間で4,131万円減額されている中、隊員は過酷な環境下での活動を余儀なくされています。この現状で十分な装備を整えられますか。また、その状況を打開するために、目の前の市民サービスだけを考えるのではなく、10年後、20年後、30年後を見据えて、署を分署にするか統廃合を進めることが後々の市民サービスにつながるのではないですか。

## 答 検討だけでなく実行できるよう努めます

消防装備の防火衣・ボンベ等は、直接隊員の命の関わるものですので、順次更新し装備の充実には努めていますが、全職員の装備を整えるのは難しい状況です。消防署の統廃合については、公共施設最適化計画で東消防署と阿山分署が検討の対象となっていますが、労働状況、財政的なことを考えると今必要なことは、伊賀市全体の消防署の統廃合だと思っています。そのために効率的で効果的な体制を構築し、組織検討委員会で早急に考えていきます。

QRコード▶



福村 教親 議員

## 質問項目

- 廃棄物処理
- 岡本市政を問う



## 問 廃棄物処理について

RDF終了後の対応と地元住民への説明の進捗状況は。

## 答 新たに協定書と環境保全の覚書を結ぶ予定です

さくらサイクルセンター中継施設の改修及び民間処理委託について、花垣地区環境対策推進協議会や住民自治協議会等と協議を行っています。市と地元側で協定書の最終案を協議し、12月中にまとめる予定です。一般廃棄物持込期限及び環境保全負担金の使途についても協定書の中に含めます。

## 問 議会軽視、愚弄、暴言、失言の岡本市政は

南庁舎問題を地域の重要案件に絡めて進めようとするような誤解を招く発言について、謝罪する気持ちはありませんか。市長の資質に問題はありますか。

## 答 上田議員の言われる市道大野木白樫線については、天地神明、恥ずることのないお願いの場であったと思っています(市長)

QRコード▶



西口 和成 議員

## 質問項目

- 伊賀市のまちづくり
- 伊賀市と児童相談所との連携
- 災害対応時における安全対策



## 問 公共施設の民間貸付や売却に関する方針は

公共施設最適化計画により様々な使用されていない施設が残存しています。用途の廃止された施設については、行政の二次利用、地域の三次利用、そして最終段階として民間活用を検討されるのですか。

## 答 現在検討しています

来年度、財務部管財課の中に公共資産の活用について一元管理をする専門部署を設けます。その中で資産情報の一括管理を行いながら、民間活用も踏まえた利活用の方針を立て、有効的、効率的に推進します。

## 問 豪雨災害時に活動する消防署員や行政職員、消防団員の安全対策は

## 答 水防活動時の消防署員や消防団員は、安全対策のためにライフジャケットを着用しています

建設部の職員については、洪水時における危険な水面には近寄らないよう指導していますが、今後は増水している河川をパトロールする場合は、ライフジャケット着用の指導をしていきます。

QRコード▶



☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

# 一般質問

北森 徹 議員

## 質問項目

- 忍者市としての今後の展望
- 市民と子ども達の安心・安全



**問** 忍者フェスタの展望は

**答** 忍者発祥の地として、他地域と差別化を図り、いつ来ても忍者が感じられるまちづくりを地域の方と目指します

**問** 忍者市駅への表示変更に対する費用対効果は

**答** 地域の活性化につながる事業の効果期待できます

平成29年2月22日に忍者市宣言を行いシティプロモーションに取り組んでいます。忍者というキラコンテツを生かすことにより、SNSを含めメディアからの国内外への発信によるプロモーション効果、伊賀線への利用促進効果を期待しています。

**問** 小・中学校での緊急時における保護者への情報伝達手段は

**答** メール配信システムを活用しています

市内全ての小・中学校でシステムを活用し、保護者への情報提供を行っています。また、地域の方にも情報提供を行うなど、子ども達の見守り体制の強化を図っています。

**問** 災害時の情報共有は

**答** あんしん・防災ネットを啓発します

加入の啓発は、市ホームページや出前講座等を通じて広く周知していきます。

QRコード▶



福田 香織 議員

## 質問項目

- 小学校・保育所(園)の給食
- 芭蕉さんの生誕地として
- 観光行政



**問** 小学校給食調理員に救済措置を

学校給食の現場では、正規調理員が極端に少なく、職場環境が過酷な状況で奮闘されています。臨時職員の募集をしてもなかなか応募がないと聞いていますが、もっと賃金を上げられませんか。

**答** 日給単価や条件の改善に努めます

学校給食調理員の調理現場は、大変厳しい現状であると聞いています。少しずつではありますが改善に努めていきます。なお、臨時調理員につきましては、日給単価を上げる方向で考えています。

**問** 芭蕉翁記念館と蓑虫庵の共通券の発行は

芭蕉翁生家の早期改修を強く望みますが、3年間も休館するのであれば、芭蕉翁記念館と蓑虫庵の2施設の共通券を500円で発行することは出来ませんか。ぜひ来年度4月から取り入れて下さい。

**答** 導入に向けて協議をしています

来館者からのお尋ねや、蓑虫庵の指定管理者である芭蕉翁顕彰会からの要望もあります。現在、導入に向けての協議を行っています。

QRコード▶



中谷 一彦 議員

## 質問項目

- 岡本市長2期目の中間点での自己評価と今後の施策の進め方



**問** 三重医療安心ネットワークとは

**答** 複数の医療機関の間で個人情報保護した上でインターネット回線を用いて医療情報を共有するシステムです

診療情報を病院間で共有することにより、安心安全かつ切れ目のない医療提供体制の充実を目指します。メリットとして、情報を共有することで一貫した医療が可能になり、重複した薬の処方や検査を防ぐことができます。現在、県内の登録件数は16,488件、伊賀市は86件にとどまっています。今後、さまざまな機会でも普及啓発に努めていきます。

**問** 忍者関連施設の整備の進捗状況は

**答** 忍者関連施設の整備運営については、公募による事業者選定を考えています

地方創生交付金の計画書案に基づき、条件等を整理し、複数の事業者に参加意向を確認しています。整備事業費等を含め、運営の試算等もいただいています。実際の事業者参加に向け、さらに募集要項や選定基準を策定し、南庁舎本体の進捗状況に合わせて公募の上選定をしていきます。

QRコード▶



☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

# 一般質問

安本 美栄子 議員

## 質問項目

- 住民自治自立
- 市政の情報共有と説明責任
- 補助金のあり方



### 問 住民自治協議会を支援する補助金とは

住民自治協議会への財政的支援の一つである補助金事業「地域活動支援事業」は、制度改正に伴い、平成31年度から申請対象外となりました。新たに「キラッと輝け!地域応援補助金」が設けられ、これまで使い勝手がよくないと言われていた制度は、果たして住民自治協議会にとってプラスになりますか。新しい制度の概要を教えてください。

### 答 「キラッと輝け!地域応援補助金」で対応します

住民自治協議会が地域まちづくり計画に

沿って実施する事業を支援し、「自主自立のまちづくり」を促進する目的で、平成31年度より、今までの「地域活動支援事業補助金」にかわり、新たに創設しようとする補助金です。補助対象事業として「テーマ設定型事業」は補助上限額100万円で補助率80%、「自由提案型事業」では補助上限額50万円で補助率80%の2事業を予定しています。今後補助金要綱を制定し、今までより使いやすい補助金となるよう3月頃には各自治協議会に説明予定です。

QRコード▶



北出 忠良 議員

## 質問項目

- 新堂駅の跨線橋
- 上野総合市民病院のあり方



### 問 もっとキレイな跨線橋に

跨線橋(新堂駅)の維持・管理と今後の修繕計画は。

### 答 修繕に伴う協議をしていきます

平成15年にJR西日本から無償譲渡を受け維持管理協定を締結しており、伊賀市が管理する跨線橋となっています。現在まで伊賀支所において日常点検を行っていますが、今後橋梁のより詳細な点検を行い必要な修繕に伴う協議を行っていきます。

### 問 安心できる医療に

上野総合市民病院の中・長期的な展望と取り組みは。

### 答 求められる医療の提供に努めます

今後、高齢者数の増加に伴いますます医療需要が高まります。そのため急性期、回復期、慢性期機能のバランスがとれた中核病院を目指すとともに、地域医療支援病院、三重県がん診療連携病院及び在宅療養後方支援病院としての役割を果たしていきます。

QRコード▶



百上 真奈 議員

## 質問項目

- 大規模太陽光発電事業の問題点
- 高すぎる国民健康保険税
- 第3次伊賀市同和施策推進計画にある「部落差別」の定義



### 問 高すぎる国民健康保険税の減免制度を

所得200万円の40歳代夫婦と未成年2人の子どもの世帯で、年間約31万円の国民健康保険税は高すぎます。そこで、子どもが一人増えるたびに3万円高くなる均等割に減免制度を作ってください。また、国民健康保険税は、無収入でも納めなければならないため、滞納せざるを得ない低所得者のための市独自の減免制度を作ってください。

1年以上保険税を滞納すると交付される被保険者資格証明書は、保険証ではないため、医療費が10割負担になり、受診が遅れて亡くなる方もいます。被保険者資格証明

書の交付をやめて、短期被保険者証を交付できませんか。

### 答 減免制度は考えていません

国が制度改正の検討をしていますので、現在のところ、市単独の軽減は考えていません。被保険者資格証明書は、公平性の視点から滞納者と面談をして、事情を聞かせてもらいますが、やむを得ず今後も交付を行う場合があります。

QRコード▶



# 一般質問

宮崎 栄樹 議員

## 質問項目

- 自然との共生
- 日米地位協定に関する市民の安心安全



## 問 新たな風力発電事業を容認すべきなのか

布引山地で計画中の新たな風力発電事業について、三重県は環境アセスメントの知事意見で、「自然環境を犠牲にする行為」であると見解を示しており、伊賀市自治基本条例に反する事業であると考えます。また、現在稼働中の青山高原ウインドファームで発電された電気の使用実績、二酸化炭素削減実績も明らかではなく、国の第五次エネルギー基本計画では、発電量が不安定な風力発電は、火力発電を調整電源として確保していかなければ自立できないという見解が示されていることから、風力発電が「クリーンなエネルギー」というのはイメー

ジにすぎないと考えます。

以上のことから、市長は環境アセスメントの市長意見で、「現時点では容認できない」と回答すべきではありませんか。

## 答 事業者が計画を提出していただければしっかり考えを示します



QRコード▶

赤堀 久美 議員

## 質問項目

- 高齢者肺炎球菌ワクチンの助成
- 特定健康診査
- ヘルプマークの配布とサポーター制度



## 問 高齢者肺炎球菌ワクチン終了の周知徹底を

肺炎は日本人の死因3位を占める重大な疾患です。そのため国は、平成26年から高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部を負担する定期接種を実施しています。

対象者は65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の5歳刻みの方全員で、5年間で65歳以上の全ての方が接種できるように助成を行ってきましたが、平成31年3月31日でその助成制度が終了します。また、市単独で、未接種の方を対象に上限2千円の補助をする任意接種も行っておりそちらも3月末で終了します。一人でも、多くの方々が接種し肺炎予防をしていただ

きたいと思いますが、そのためにも市として未接種の方に『ラストチャンス!』だということ周知徹底するべきですがいかがですか。

## 答 未接種の方がいないよう周知します

肺炎予防のためには、肺炎球菌ワクチンが効果的で、肺炎にかかっても軽く済みます。広報やケーブルテレビなど、医師会の協力も得ながらあらゆる所で周知していき、未接種の方々に必ず行っていただけるよう努めます。



QRコード▶

上田 宗久 議員

## 質問項目

- 議案審議に伴う市長および行政職員の働きかけ



## 問 市長と行政職員の働きかけに関して

9月26日(9月定例会閉会日2日前)、総務部理事より「南庁舎改修予算案に理解を示してほしい。理解いただけないと、市道大野木白樫線の拡幅工事を取りやめにもすることもできる」との電話を受けました。その後、建設部長より「市長は、道路のことで、27日夕方、市民センターに何う」との連絡を受け、地区役員等計6名と市長との面談に応じました。市長は開口一番「南庁舎のリノベーション案を支持していただかないと、この工事の優先順位を変えなければならぬ」と示唆されました。拡幅工事は地区の工事説明会の日程調整の最終段階となって

いました。これらの発言は、地区役員に対しては威圧的、脅しとも取れる行為、私に対しては、議決権の侵害と受け止めました。今回の働きかけ行為に関して謝罪していただきたいと考えますが、いかがですか。

## 答 市長、執行部職員とも働きかけ・威圧・脅しとも取れる行為は行っていません



QRコード▶

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

# 一般質問

信田 利樹 議員

## 質問項目

- 新庁舎開庁目前にあたり
- 伊賀市のまちづくりに関して



**問** 伊賀市まちづくりの概念は何ですか

**答** 市民のみなさんの幸せや過ごしやすさ、夢が持てるような市民のみなさんの為のまちづくりです

**問** 上野東町ポケットパークの建設はまちづくりの一環ですので現況を教えてください

**答** 11月8日に地元自治協議会への説明に行き、その後11月21日に入札の公告をしました

**問** 地元の方の意見はどうでしたか

**答** 地元自治協議会からは質問書をいただいています。説明会では賛成の方、反対の方どちらもおられました

**問** 質問書には、はっきり反対と書いてあるのに入札公告をしたのはなぜですか

**答** 質問書の回答の中で説明して解決できるものと考えています。大きな観点からは未来に役立つ、地域のためになるものですので、更に地元の説明していきます

**問** 説明責任があり、地域が納得していないのになぜ入札公告したのですか

**答** 自治基本条例の中に地元同意とありますが、必ず同意が必要だと言う条文ではありません

QRコード▶



近森 正利 議員

## 質問項目

- 防災・減災対策
- 学校施設の安全確保
- 地域運行バス
- 伊賀鉄道の障がい者運賃割引に関する請願の進捗状況



**問** 地域運行バスの利便性向上を

交通不便地域と中心市街地を結ぶルートを示したが、既存路線と重複があっても許可が下りる可能性はありますか。

**答** 許可が下りる可能性はあります

地域運行バスは地域のニーズに合った移動手段を確保するための制度であり、既存路線バスとお互いに相乗効果が得られる運行経路の設定により、交通事業者の了解を得て、中部運輸局三重運輸支局が許可する可能性はあります。

**問** 伊賀鉄道の障がい者運賃割引の実現を

6月議会で伊賀市障害者福祉連盟から提出、採択された「伊賀鉄道の障がい者運賃割引に関する請願」の進捗状況は。

**答** 市の福祉施策として導入を検討します

現在、実施している障がい者の移動に関する助成事業に、伊賀鉄道利用料金の助成を追加することで、障がい者運賃割引制度に代わる助成制度として実施を考えており、現在、伊賀鉄道株式会社と協議をしています。

QRコード▶



山下 典子 議員

## 質問項目

- 防犯灯のLED化
- 公共施設のトイレの洋式化
- 上野天神祭
- 公共交通



**問** 学校トイレの洋式化を

避難所となっている小・中学校のトイレは、身体の不自由な高齢者や和式に慣れていない子どもたちのために、改善するべきだと思います。現在の洋式化の状況と方向性は。

**答** 早期に進めていく必要があります

平成30年11月現在の小・中学校のトイレの洋式化率は48%です。子どもたちの利用の多い校舎棟のトイレ改修を優先的に進めていますが、避難所としても利用されるなど洋式化のニーズが高まっていますので、大規模改修時などに進めていきます。

**問** 市内のJR駅のバリアフリー化を

草津線沿線は、バリアフリー化され、駅を中心にまちが活性化されています。伊賀市内のJR駅のバリアフリー化は。

**答** 強く要望します

1日の乗降客数3,000人の高いハードルを超えるなどの条件が課題ですが、今後もJRに強く要望をしていきます。また、近鉄伊賀神戸駅のように、跨線橋を使わないホームへの移動もバリアフリー化の一つの方法と考えます。

QRコード▶

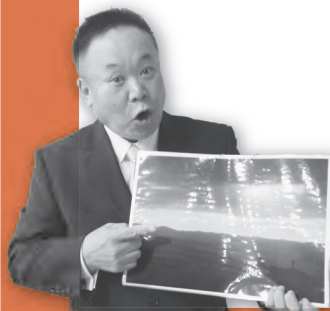


# 一般質問

田中 覚 議員

## 質問項目

- 伊賀市2030年のすがた



### 問 大阪・関西万博への取り組みは

2025年に大阪・関西万国博覧会の開催が決定されました。国連で採択された17本のSDGs(持続可能な開発目標)と国家戦略の(\*)Society5.0(超スマート社会)の実現がこの万博の目標です。市長から忍者パビリオンを出したいと発言がありましたが、単なる思い付きですか、それとも考えがあるのですか。

### 答 発想は思い付きが一番大事です

市だけでできるものではないので、関連機関等と連携し実現したいです。

### 問 地球市民の役割として、様々な市の計画や基本方針も国際基準に合わせていくのですか

### 答 見直しの都度、順次反映していきます

市の中心的計画であるまちづくりを定めた総合計画の中では、SDGsの方針と合致している部分があります。

### 問 関西広域連合への加入は

現在、三重県も市も加入していません。今後加入して窓口になるべきでは。

### 答 関西圏とは運命共同体です

運命共同体は共通の課題を一緒になって解決できるのがメリットだと考えます。

※ Society5.0: 狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く5番目の新しい社会

QRコード▶



川上 善幸 議員

## 質問項目

- 伊賀市のまちづくりの方向性
- 公用車管理と職員の交通安全



### 問 伊賀市まちづくりの方向性は

第2次伊賀市総合計画・第2次再生計画の中にある(\*)コンパクトシティ・プラス・ネットワークの推進の考え方と支所や地区市民センターの今後は。

### 答 多核連携型の都市構成を目指します

既に居住が集約している地域に誘導することで、地域の活力を維持すると共に、医療、福祉、商業等の生活機能を確保し、地域公共交通と連携してコンパクトなまちづくりを行います。

各支所周辺地域は、地域拠点と位置づけ、従来のコミュニティを大切に、交通ネットワークで結びます。

新庁舎開庁後、阿山支所と大山田支所は、それぞれ隣接する保健福祉センター等に移転し、移転後の阿山支所庁舎は、貸付又は売却、大山田支所庁舎は耐震が無いので廃止する計画となっています。

地区市民センターは自治センター化を目指し、支所との事務分掌の整理を行い、包括的管理のあり方をどの様に進めるのかが大切であると認識しています。

※ コンパクトシティ: 人口減少・超高齢社会などに対応し、安全で快適な生活を持続可能とするため、まちの中心に人、施設、各種機能がまとまったまちのこと。

QRコード▶



嶋岡 壮吉 議員

## 質問項目

- 森林の管理
- 空き家対策
- 災害対策



### 問 森林整備計画と森林経営管理制度はどのように進められているか

### 答 持続可能な森林整備を目指します

森林整備計画は、森林法で定められた10年を一期として策定しなければならぬと位置づけられています。市は平成29年4月から平成39年3月末の期間で策定しており、計画内容は5年毎に見直すことになっています。森林施策の合理化に関する基本方針をもとに、森林整備や森林保護に関する事項を定めた持続可能な森林整備を目指したものになっています。

森林経営管理法では、森林の経営管理に

意欲と能力のある民間業者に集積・集約化し、経営管理に適さない森林の管理については、市自ら管理を行うという仕組みとなっています。

来年度から交付予定の森林環境譲与税を活用し、それぞれの地域にあった森林管理ができるよう地域の森林所有者と共に検討していきます。

QRコード▶



市議会広報委員がおしゃします!

# 地域の魅力発見 第6弾



5回にわたりご紹介してきた地域の魅力発見シリーズ、最終回は上野地域です。

今回は、伊賀に訪れる観光客への案内役として活躍されているカルチャーボランティアガイドいがうえの語り部の会会長辻野和彦さんにお話を伺いました。



いがうえの語り部の会  
会長 辻野和彦さん



## — いがうえの語り部の会とは



平成6年4月に伊賀上野の観光案内を目的に設立されたボランティア団体で、現在の登録人数は49名です。上野公園、鍵屋ノ辻、旧崇廣堂などに来られる年間3,000人を超える観光客に施設の案内をしています。

## — 伊賀市の観光の魅力は



伊賀上野城下町の文化的景観が残っていることから、イコモス20選に推薦されたことなど文化的に優れているところです。

## — 困っていることは



上野公園近くに団体のお客様が利用できるレストランやお土産物販売などの施設がないことです。トイレが少ないことも悩みです。そのほか、上野公園内全域を車椅子で通れるように道を整備してほしいです。障がいのある方など誰にでも優しい配慮があれば、今以上にお客様に来ていただけるのではと思います。

## — 語り部のやりがいについて



お客様への案内が終わった後、たいへん喜んでいただいたり、一緒に撮影した写真とともに礼状が届いたりすると、とても励みになります。「よかったよ」と言ってもらえるのが「語り部」という仕事にやりがいを感じます。意外と伊賀市に住んでいて市内のいい所を知らない方もみえます。そんな方たちにも、語り部の会をぜひ利用していただきたいです。

お問い合わせ先 (一社)伊賀上野観光協会 TEL 0595-26-7788

## 新しくなった議場で傍聴してみませんか



議会の会議は、どなたでも傍聴できます。市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ、傍聴してください。

●聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、一般質問初日の2日前(土日祝除く)までに市議会議務局に申し出てください。(対象となる会議・・・一般質問)

●議場傍聴席に「FM補聴システム」を設置しています。  
※本会議・予算常任委員会の模様は、午前10時からケーブルテレビで生中継しています。(再放送は午後7時から)  
※本会議等は市議会議場または委員会室で開催します。

**編集** 身近な地域の魅力を、広報委員会独自の視点で紹介してきた  
**後記** 「地域の魅力発見」シリーズも、今回の「上野」で終了です。みなさんにとって初めての「魅力発見」はありましたか? 今後も、地域や市民の紙面登場で、より親しまれる議会だよりになるよう努めてまいります。(百上)

## 平成31年3月定例会日程(予定)

- 2月26日(火) 本会議(開 会)
- 3月 4日(月) 本会議(一般質問)
- 5日(火) 本会議(一般質問)
- 6日(水) 本会議(一般質問)
- 8日(金) 本会議(一般質問)
- 11日(月) 予算常任委員会
- 12日(火) 予算常任委員会
- 13日(水) 予算常任委員会
- 14日(木) 予算・決算を除く各常任委員会
- 15日(金) 予算・決算を除く各常任委員会
- 22日(金) 本会議(閉 会)

※本会議と予算・決算常任委員会は10時から始まります。  
その他の各常任委員会は、開会日に決定します。  
※定例会の日程は、変更になる場合があります。

## ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

**郵送** 〒518-8501 伊賀市議会議務局「議会だより感想」宛  
**TEL** 0595-22-9687 **E-mail** gikai@city.iga.lg.jp  
**FAX** 0595-24-7901  
**ホームページ** <http://www.city.iga.lg.jp>

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を貸出しています。  
希望される場合は、上記までお問い合わせください。



次号は5月15日です。

発行:伊賀市議会 編集:伊賀市議会広報委員会

# 上野公園マップ

いがうえの語り部の会 辻野会長に上野公園のお宝(植物・碑)を案内していただきました。地図を見ながら公園内を巡ってみると新たな発見があるかもしれませんね♪



## 1 おくろじ 無患子



硬い種子は数珠や羽根つきの羽根の玉に使用され、果皮は、石鹼の代用や強心剤にされていました。

## 2 たらよふ 多羅葉



インド原産。葉の裏側へ文字を書くことができ、葉書という言葉になったと伝えられています。

## 3 だいおうまつ 大王松



葉先が3本あり、葉の長さが30～40cmにもなりダイオウショウとも言われます。

## 4 たかいしがき 高石垣



大阪城と並ぶ高石垣で、根石より天端まで29.7mの高さを誇り、「打込接」の技法で築かれています。

## 5 ぼしょうくひ 芭蕉句碑



「さまざまな事おもひ出す桜哉」芭蕉 45歳の時、伊賀へ帰郷中に藤堂新七郎家の良長に招かれ詠んだ句です。

## 6 さんようくようとう 蚕繭供養塔



蚕の繭を表現した碑。蚕の供養塔です。